

桜島の火山活動解説資料

福岡管区気象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方気象台

＜火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続＞

本日（11 月 24 日）、16 時 23 分に昭和火口で爆発的噴火が発生しました。弾道を描いて飛散する大きな噴石が 5 合目（昭和火口より 500～800m 付近）まで達し、多量の噴煙が火口縁上 4,000m まで上がり北東に流れました。

今のところ大規模な噴火が発生する兆候は認められませんが、昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るため注意してください。

爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

平成 24 年 3 月 21 日に火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）の切替を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴煙などの表面現象の状況（図 1）

昭和火口では、活発な噴火活動が続いています。

本日（24 日）16 時 23 分に爆発的噴火¹⁾が発生しました。この噴火により弾道を描いて飛散する大きな噴石が 5 合目（昭和火口より 500～800m 付近）まで達し、多量の噴煙が火口縁上 4,000m まで上がり北東に流れました。昭和火口で 4,000m 以上の噴煙を観測したのは 2013 年 10 月 21 日以来です。

・降灰の状況（図 2）

鹿児島地方気象台および宮崎地方気象台が 24 日に実施した、現地調査および聞き取り調査の結果、桜島島内の高免町から黒神町付近にかけて最大 7 ミリの小さな噴石（火山れき）を確認しました。

桜島北東側の霧島市付近から宮崎県南部にかけて降灰が確認されました（24 日 20 時現在）。

・地殻変動の状況（図 3）

有村観測坑道の伸縮計（大隅河川国道事務所設置）では、16 時 23 分の爆発的噴火の前後で伸縮計にわずかな膨張・収縮が見られました。

1) 桜島では、爆発地震を伴い、爆発音、体感空振、噴石の火口外への飛散、または気象台や島内の空振計で一定基準以上の空振のいずれかを観測した場合に爆発的噴火としています。

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局大隅河川国道事務所、京都大学のデータを利用して作成しました。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。



図1 桜島 鹿児島地方気象台（東郡元）から見た昭和火口の噴火の状況
噴煙上昇中の状況（16時31分頃）
多量の噴煙が4,000mに達し、北東へ流れました。

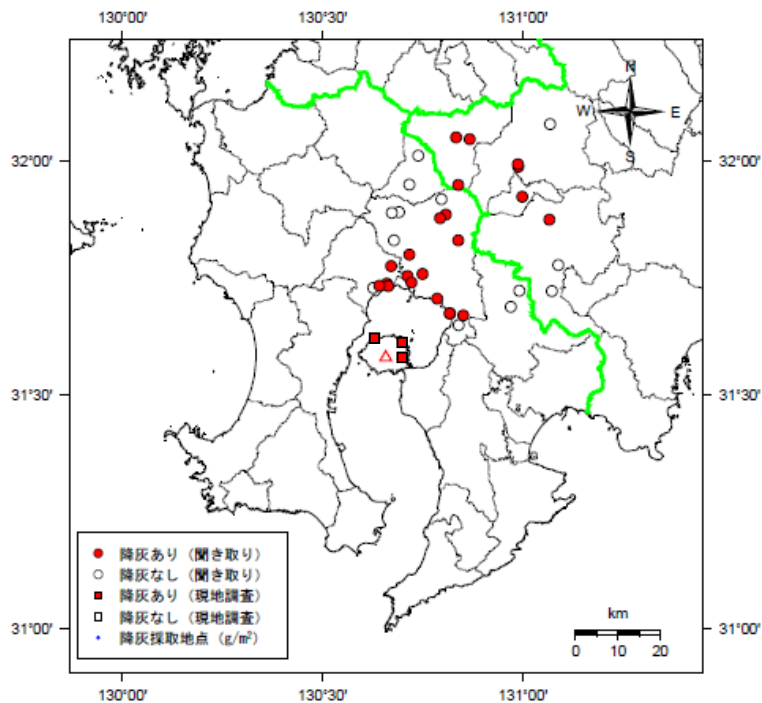


図2 桜島 24日16時23分に発生した噴火による降灰が確認された地点（24日20時現在）
鹿児島地方気象台および宮崎地方気象台が24日に実施した、現地調査および聞き取り調査の結果、桜島島内の高免町から黒神町にかけて最大7ミリの小さな噴石（火山れき）を確認しました。
桜島北東側の霧島市付近から宮崎県南部にかけて降灰が確認されました。

有村観測坑道傾斜計・伸縮計(潮汐補正分値)
2013/11/23 00:00 -- 2013/11/24 18:08

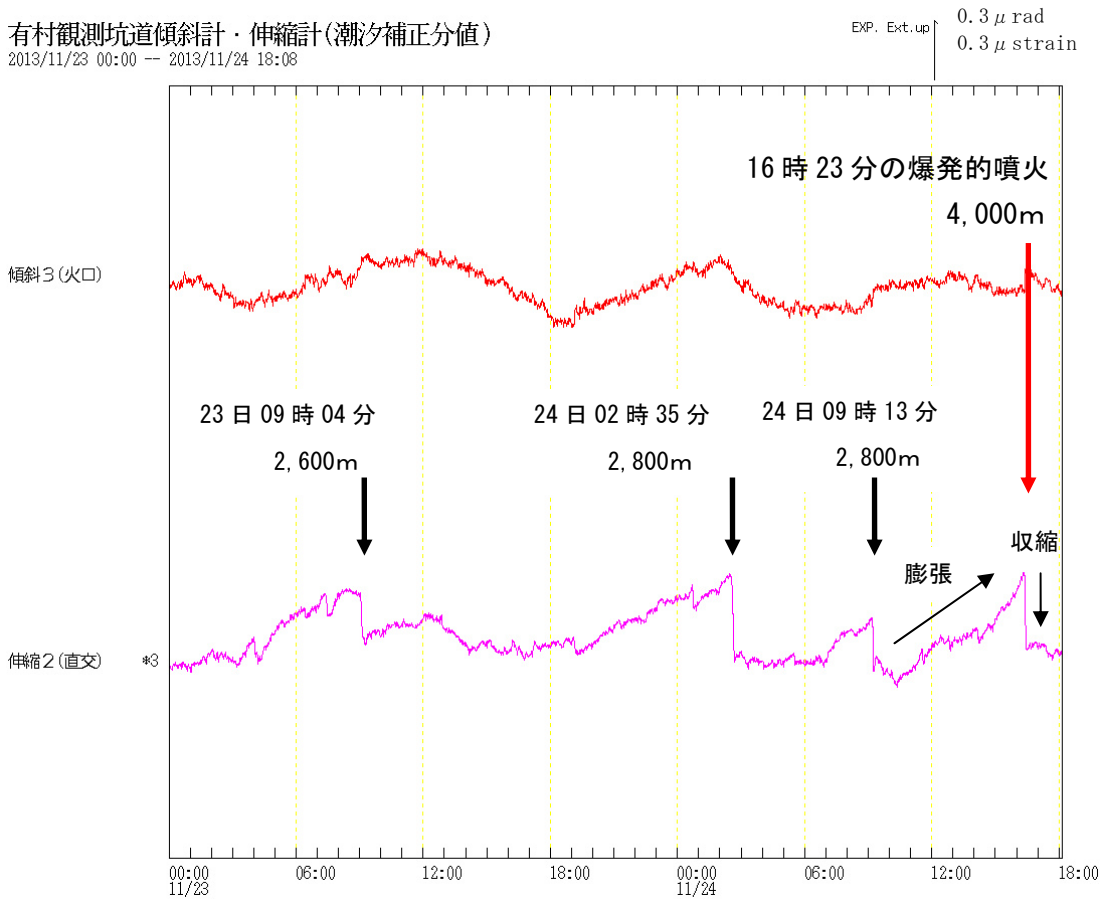


図 3 桜島 地殻変動の状況 (2013 年 11 月 23 日 00 時～11 月 24 日 18 時)
16 時 23 分の爆発的噴火の前後で伸縮計にわずかな膨張・収縮が見られました。

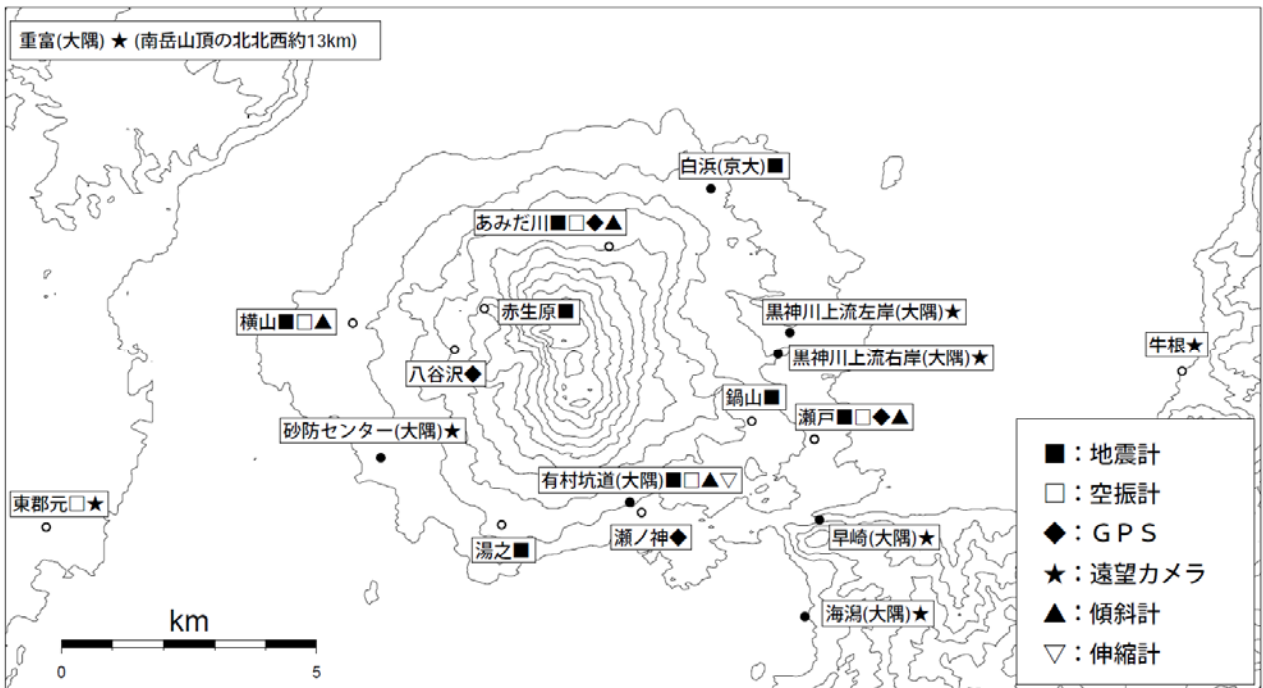


図 4 桜島 観測点配置図
小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(大隅) : 大隅河川国道事務所設置、(京大) : 京都大学防災研究所設置